

2 / 23

先勝 月

旬のもの 萬(にら)

ユリ科。旬は早春から夏。にらは摘んでも摘んでも、すぐ芽が出てくるという生命力の強い植物です。昔から農家の自家用野菜として栽培されていました。

にらは、ビタミンA、B2、C、カルシウム、カリウムなどの栄養成分を豊富に含む緑黄色野菜です。にらに含まれる硫化アリルは、ビタミンB1を体内に長く留めておく作用があるので、スタミナ増強食品として使える他、新陳代謝も促すので、食欲増進、風邪の予防などにも効果が期待できます。ただし胃腸の弱い人やアレルギー体質の人は、食べ過ぎに注意した方が良いでしょう。

ふろしきの日

繰り返し使えて環境に優しいエコな商品である風呂敷の価値を広くアピールしてみようと、京都のふろしき業界で作る京都ふろしき会が制定。「つ(2)つ(2)み(3)」(包み)の語呂合わせから記念日となりました。

税理士記念日

1942(昭和17)年のこの日、税理士法の前身である「税務代理師法」が制定されたことを記念して、日本税理士会連合会が制定。税理士の職務の重要性を再確認するとともに納税者への申告納税制度の普及・定着を図り、税理士制度の意義をPRすることを目的としています。

2 / 24

友引 火

旬のもの 浅葱(あさつき)

ユリ科の植物で、日本各地に自生しているネギの仲間の野草です。ネギの仲間の中では最も細かいことから漢名では「糸葱」とも書かれます。香、辛味はネギよりも柔らかく、葉の色もネギより薄い緑色をしています。細長い葉の部分は薬味として食べ、根っこにできる小指の先ほどの小さな球根は、味噌などに付けて食べると美味しいです。この根っこにできる球根をプランターに植えておくと、簡単に自家栽培ができ、葉の部分だけを切り取るようにすれば、毎年のように緑色の葉を伸ばします。カルシウム、ビタミンC、ビタミンB1、ビタミンB2、βカロチンなどが含まれており、夏ばて、風邪予防、美容、疲労回復の効能があります

南国忌

1934(昭和9)年に亡くなった大衆作家・直木三十五の忌日。代表作の「南国太平記」から「南国忌」と呼ばれています。翌年、友人であった文藝春秋社長の菊池寛が、芥川賞とともに直木賞を創設しました。

月光仮面の日

1958(昭和33)年のこの日、ラジオ東京(現TBS)で国産テレビ映画第1号として『月光仮面』の放映がスタート。視聴率は60%を超えており、翌年7月5日まで全133話が放映されました。白黒テレビがやっと一般家庭に普及し始めた時代で、国内でカラーの放送が始まったのは約2年後のことでした。